

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
岡村 太郎		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【<概要>又は<一般目標：G I O>】 精神障害に対する作業療法の評価を実施するために、必要となる基礎的な知識を身につける。					
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 1. 評価の概要について説明できる 2. 評価と経過について説明できる 3. 対象者の経過に評価の整合性について述べる事ができる 4. 評価の方法について列挙できる 5. 作業療法計画について書式にまとめレポートとして提出できる					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法	学習課題又は備考	担当教員
1	評価の概要 評価の特性・目的・対象項目 作業療法のアプローチと評価の関係	1 1			以下すべて、講義 担当教員岡村
2	評価と経過 評価の時期と適応 評価と回復状態からみた作業療法の役割・目的	2 2			
3	評価の経過と整合性 評価の必要性とその内容 身体構造と機能・活動・参加の評価 検査結果の解釈と検討 適応課題の選出 ゴールの整合性（焦点化） 適応課題と作業の適応 評価・経過の記録 、フォローアップの実施計画立案	3 3 3 3 3 3 3 3			
4	評価の方法 情報：他部門からの情報収集 面接：構造、形態、種類と目的 観察：構造、形態、種類と目的	4 4 4			
5	作業面接：構成的作業面接・投影的作業面接 検査・測定：種類と内容 調査：種類と内容	4 4 4			
6	作業療法計画 療法計画の立案、経過記録、再評価	5 5			
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		精神障害と作業療法第二版 作業療法実践の仕組み 事例編	山根寛 矢谷令子・福田恵美子	三輪書店 協同医書出版	2004 2004
参考書		ICF国際生活機能分類 心理査定プラクティス	岡堂哲雄：編	中央法規 至文堂	2002 1998
その他の資料		諸検査チャート（BPRS等）配布			
【評価方法】 期末テスト・出席・レポートにより評価			【履修上の留意点】		